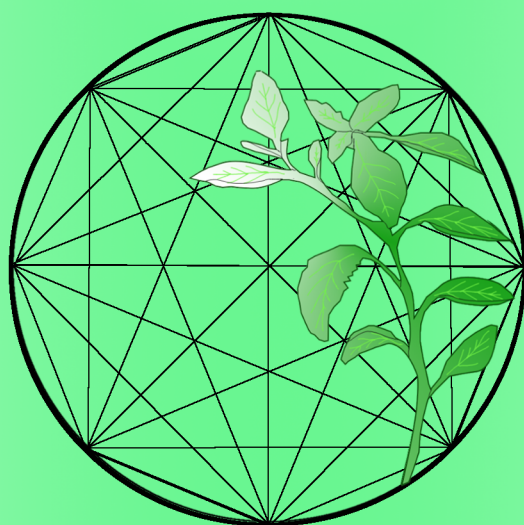


さきがけ情報協働栽培 研究領域公開ワークショップ 「栽培モデル研究の最前線」

さきがけ「情報協働栽培」研究領域は平成27年度にスタートしました。この研究領域は、情報学と農学・植物科学が協働し、農産物の革新的な栽培技術の基盤の実現を目指すプロジェクトであり、革新的な計測手法によるデータ取得及び活用、情報科学・数理科学的手法による知見の発見が重要なトピックです。そこで、本ワークショップでは当該研究領域に関心を持つ研究者を主な対象として、モデル構築をテーマとする関連研究の最新の取組みと成果・課題を共有します。「情報協働栽培」領域及び関連領域研究者の発表・議論を通じ、参加者自身の研究における課題を深化することを目的とします。



二宮正士（東京大学、さきがけ「情報協働栽培」研究総括）
さきがけ「情報協働栽培」研究領域紹介

福田弘和（大阪府立大学、さきがけ「情報協働栽培」研究者）
「精密環境オミクスデータに基づく植物生産不安定性の解明」

野下浩司（JST/東京大学、さきがけ「情報協働栽培」研究者）
「マルチスケールデータ融合による草姿・草型の超解像フェノタイピング技術の開発」

矢部志央理（農業・食品産業技術総合研究機構、さきがけ「情報協働栽培」研究者）
「量的遺伝学に基づく環境応答型イネ選抜モデル開発」

辰己賢一（東京農工大学、さきがけ「情報協働栽培」研究者）
「確率光合成モデルによる高汎化型イネ成長応答モデルの開発」

永野惇（龍谷大学、CREST「植物頑健性」研究チーム代表者）
「野外環境と超並列高度制御環境の統合モデリングによる頑健性限界の解明と応用」

平藤雅之
（農業・食品産業技術総合研究機構、CREST「ビッグデータ応用」研究チーム代表者）
「フィールドセンシング時系列データを主体とした農業ビッグデータの構築と新知見の発見」

■日時・会場

平成29年2月10日（金）13:00-17:00

東京大学福武ホール地下2階 福武ラーニングシアター（東京都文京区本郷7-3-1）

<http://fukutake.iii.u-tokyo.ac.jp/access/index.html>

■参加申込Webサイト（要事前登録、参加費無料）

https://form.jst.go.jp/enquetes/ws_i-cul-frontier_2017

■お問い合わせWebフォーム（科学技術振興機構 戦略研究推進部 ICTグループ）

https://form.jst.go.jp/enquetes/inquiry_i-workshop2017